

＜記入例＞

移送を必要とする医師の意見書

療養者氏名	東京 太郎	生年月日	昭和 47 年 5 月 3日
傷病名	腸閉塞	発病（負傷） 年 月 日	令和 8 年 4 月 15日
入院期間	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで		
移送を必要と認めた理由（付添いがあった場合は、併せて付添いを必要と認めた理由）			
<p>腹部レントゲン写真上、腸閉塞の状態であり、専門医及び入院施設を 要すると判断。患者の歩行が困難であったため、下記の方法で移送が 必要であった。</p>			
移送年月日	令和 8 年 4 月 15 日		
移送の方法	救急車、高速船、寝台車		
移送の経路	△△診療所 → ○○港 → 竹芝棧橋 → ○○病院		
<p>上記に掲げる理由により、移送が必要であったと認めます。</p> <p>令和 8 年 4 月 28 日</p> <p>保険医療機関名 △△診療所 住 所 東京都大島町○○○ 電 話 04992（ 2 ） 1234 主治医氏名 京都 三郎</p>			

〔注意事項〕

- 「移送を必要と認めた理由」欄は、下記2の状況がわかるように具体的に記入してください。
- 支給対象は、移動困難な患者であり、当該医療機関の設備等では十分な診療ができず、医師の指示により緊急に転院した場合等です。

提出先 公立学校共済組合東京支部給付貸付課短期給付担当

(令和8年1月)